

'17

前期日程

# 文化・社会系共通 小論文

(教育学部)

## 注意事項

1. 試験開始の合図があるまで、この問題冊子を開いてはいけません。
2. 問題冊子は1冊(2頁)、解答用紙は1枚、下書用紙は1枚です。落丁、乱丁、印刷不鮮明の箇所等があった場合には申し出てください。
3. 氏名と受験番号は解答用紙の所定の欄に記入してください。
4. 解答は指定の解答用紙に記入してください。
5. 解答用紙は持ち帰ってはいけません。
6. 問題冊子と下書用紙は持ち帰ってください。

## 問 題

以下の文章を読み、問に答えなさい。

使いやすいおはしの長さは？ 今年の全国学力テストで出た小学6年生用算数Bの問題だ。答えは「一<sup>ひと</sup>あた半」!?

といってもこれは算数の出題。一あた半を知っているかどうかを試すものじゃない。小学生が、日本の伝統文化についての発表で、はしの長さを取り上げた、という場面設定。親指と人さし指を直角に広げた時の指先の距離が「一あた」と図付きで説明した上で、その1.5倍の一あた半を表す図を四択で選ぶという、手の込んだものだ。

一あた半(「あた」の漢字は咫だっ)を知らなかった私。使いやすいなんか、はしを持ってみたらいいじゃない、と反抗したくなるけれど、ここは数量を把握する力の問題。素直にならなきゃ。

学習において素直は大事だ。でも、本当にそうか、と疑ってみることも大切。覚えるだけでなく、考えをめぐらす。はしのない外国に、似たような単位は？ はしを使う中国や韓国では？ 学力テストの平均点向上には貢献しないかも、だけど、もっとおもしろい世界のことをのぞけたりする。

点数で表せる学力で日本は、子どもも大人もすでに世界のトップ級だ。一つの物差しの上で、より小さく、より速く、より多く、より鮮明に、を達成する力でピカイチのニッポンを支える。でも、 力とか、点数にならない力はパツとしない。

iPod や iPhone に不可欠な部品を作れたのに iPod や iPhone は生み出せなかったのはなぜ？ 学力テストの平均点で数点も差がない他県と競い、出題の傾向分析と対策にいそしんでいるようでは分からない。

[[点数にならない力]『毎日新聞』2014年8月29日]  
(出題の都合上、一部省略し、一部表現を改めた。)

問

あなたなら、「点数にならない力」として、空欄にどのような力を入れるか。空欄に入れた力を明示し、そのように考えた理由を述べなさい。(500字以内)